

ArCS II国際法制度課題公開勉強会/ 第19回 PCRC国際法セミナー

先住民族から見た人間と自然の関係：
イヌイトとアイヌの文化から得られる国際環境法への示唆

*Indigenous views on human-nature-relationships:
Inspiration from Inuit and Japanese Ainu cultures for
international environmental law*

スピーカー：キース・バステマイヤー教授
Speaker: Prof. Kees Bastmeijer
神戸大学大学院 国際協力研究科客員教授
／オランダ・ティルブルグ大学教授

2021年 **12月7日** (火) 15:10 - 16:40

開催形式：オンライン (ZOOM)

参加希望：以下のアドレスから12月3日までにお申し込み下さい

pcrc-kobe [at] bear.kobe-u.ac.jp

本セミナーは英語で実施されます。

キース・バステマイヤー オランダ・ティルブルグ大学法学研究科教授
専門は国際法・国際環境法。自然環境保全、
Wildernessに関する国際法及びEU法研究の世界的な第一人者。2022年1月よりJSPS招へい外国人
研究者として神戸大学に滞在予定



主要業績

Wilderness Protection in Europe: The Role of International, European and National Law (editor, Cambridge UP, 2016);
"Antarctica's wilderness fails to capture continent's biodiversity", *Nature* 583 (2020) (co-author).